



Town topics
2 / 16

01. 三重県庁前をスタートした第一走者の選手たち。紀宝町のゼッケンは65番。02. 紀宝町を代表する駅伝ランナーたち。03. タスキをつなぐ選手。

第13回美し国三重市町対抗駅伝

美し国駅伝で紀宝町チームは過去最高タイの9位!!

早春の伊勢路を県内29市町の代表選手が駆け抜ける「第13回美し国三重市町対抗駅伝」が2月16日、津市の県庁前から伊勢市の三重交通Gスポーツの杜伊勢を結ぶ10区間、42.195kmのコースで行なわれました。

紀宝町チームの結果は、2時間43分09秒で、町の部で9位、総合の部で23位でした。チームが目標とする町の部初の8位入賞には一歩届きませんでしたが、雨が降り寒いく中、監督・コーチ・選手・サポートメンバー・スタッフ、全員がワンチームとなり走り抜けました。



Town topics
2 / 23

熊野さくらの会が植樹祭を開催

クマノザクラ150本の植樹を行う

NPO法人・熊野さくらの会は2月23日、北檜杖にある標高約300mの山林、通称「さくら山」で、「クマノザクラ植樹祭2020」を開催しました。

植樹祭は、桜の名所を作るほか、世代間交流を進めようと同会が毎年この時期に行っているもので今回で18回目となります。

昨年に続き今年も、クマノザクラの苗木150本を植えました。この日参加した会員など約60人が、苗木が倒れないよう固定しながら丁寧に植樹していました。



01. 植樹祭に参加したみなさん。02. クマノザクラを植樹。



粘土を丸く伸ばす参加者たち

Town topics
2 / 15・16

MANABI ★ボランティアが陶芸教室を開催

オリジナルのお皿を製作

まなびの郷ボランティアグループのMANABI★ボランティアは2月15日、16日の両日、まなびの郷創作工房で東和子さんを講師に招き、陶芸教室を開催しました。

この教室は、普段あまり触れ合う機会がない陶芸に触れ合ってもらうことを目的に行ったものです。

15日には一般の部として24人が、16日には小学生の部として低学年15人、高学年9人が参加しました。

参加者たちは、棒で粘土を広げ、花や葉などのスタンプを押して直径15cmほどのオリジナルのお皿を作りました。このお皿は、乾燥させたあと素焼きし釉掛け、本焼きを経て4月ごろに完成する予定です。



伝統的な食文化を保存・継承していくために

なれ寿し教室を開催

町は、2月19日、浅里生活改善センターでなれ寿し教室を開催しました。

3回目となるこの教室は、高齢化や人口減で作り手が少なくなっている、伝統的な食文化を保存・継承していくために行ったもので、講師に飛雪の滝百姓塾の方を招き実施しました。

参加者たちはサンマの捌き方や塩漬け、塩抜き、お米の炊き方、木箱への詰め方などを体験したほか、発酵までの保管方法を学びました。

参加者らは、発酵の見極め方や木箱に隙間ができたときの対処法など熱心に講師に質問していました。

Town topics
2 / 19



なれ寿しを握る参加者



受付訓練の様子

神内地区防災訓練を開催

災害時に必要な行動を学ぶ

神内地区は2月16日、神内地区各地で津波避難訓練を行い、その後神内小学校で避難所運営訓練を開催しました。

これは、大地震が発生した際に、自分の命を守る主体的な姿勢や具体的な行動を身につけるために行われたものです。

神内地区では、防災行政無線の放送を合図に、地区内8か所の一時避難場所に集まった後、徒歩で神内小学校に向かい、避難所レイアウトや避難者の受付、割振りの訓練のほか、炊き出し訓練が行われました。

参加者たちは、訓練の説明を受けながら熱心に取り組んでいました。

Town topics
2 / 16